

勇気は機関車

第13号 平成16年10月16日
編集者 池部 徹

友人の勧めで久々漫画を読んだ。小山ゆうの「チェンジ」!

幼少より足が不自由で車椅子生活の少女『早』は家族からも見捨てられ、病室の窓から見える高校野球部の姿を見るのが唯一の楽しみだった。そして『早』はキャプテンでエースの下用にキキを覚える…しかし、彼女の運命は、

まもなく交通事故でその短い人生を終える。一方、物語の準主役新米の『死神』の初仕事は彼女を天国へ送り届けること。



だが、泣く泣く天国への道中死神はある決心をする。

元気な体・青春・そして恋も果たせぬ不幸な早を想い、自らの命と引き換えに49日間だけ早に仮の肉体と生命を与える覚悟をするのであった。そして早はこの49日の中で人の一生分以上の友情・恋をするのであった。…

この物語のテーマは「自己犠牲」。早を誰より愛しく恋したのはこの死神なんですが…人のためにどこまで自分を無にできるか? それに加え自分のことをわかって欲しいけれどそれもかなわぬ。陰徳? ん〜とても悲しい。

ほんと崇高なものです。つつい見返りを期待したり株を上げたいと思うのですが。私達も誰かに見守られている以上、利他愛を忘れてはいけません。